

【主な出来事】

●ドドン大統領はプーチン露大統領とビデオ会談を実施。プーチン大統領は、ドドン大統領の大統領選挙での成功を祈念する旨述べた。

1. 内政

新型コロナウイルス関連

▼入国規制ーレッド・カテゴリー国への対応

・25日、保健・労働・社会保障省は、レッド・カテゴリーに属する62の国(日本は含まれない)を発表した。レッド・カテゴリーの国籍者は、モルドバ国籍者の家族である者、モルドバの長期滞在許可を持つ者、外交団・国際機関関係者等を除いて、入国できない。

・また、レッド・カテゴリー国に属さない国籍者であっても、モルドバ入国時にレッド・カテゴリー国から直接又はトランジット経由で入国する場合は、健康調査票への記載及その後14日間の隔離措置が課される旨発表した。

・レッド・カテゴリーには、ルーマニアやウクライナの近隣諸国をはじめ、EU諸国ではオーストリア、オランダ、チェコ、フランス、ポルトガル、スペイン等、その他地域では米国、英国、ロシア、スイスなどが含まれる。

▼公共衛生緊急事態の変更等

・28日、公共衛生特別委員会は、国内全土を対象として5月15日から開始され、9月30日まで延長を重ねて来た「公共衛生緊急事態」を変更し、10月1日以降は国内地区ごとの感染状況に鑑み対応を決定するシステムを導入する旨発表した。

新システムでは、過去14日間における10万人当たりの感染者数の多寡により4段階の緊急レベルに分けられる。

ーレベル1(緑)ー感染状況がまれ。

ーレベル2(黄)ー感染状況低い(必要な措置をとった上での外出、50人までの集会、企業活動が可能等)。

ーレベル3(橙)ー感染状況中程度(人数を絞った集会(葬式など)は可能。学校は必要な衛生措置をとった上で開校等、外出の制限有り)。

ーレベル4(赤)ー感染状況多し(集会の禁止、学校閉鎖、必要最小限の外出等)。

現時点では全国38地区の内、首都キシニョフを含む26地区が赤、11地区が橙、1地区が黄で、緑の地区は無い状況である。

▼9月末現在の感染者53042名

・9月末時点の新型コロナウイルス国内感染者数は計53042名、死者は1320名となった。

2. 外政

▼ドドン大統領とプーチン露大統領のビデオ会談

・28日、両大統領はビデオ会談を行い、プーチン大統領

はドドン大統領による両国関係推進に向けた努力への感謝の意を示すと共に、大統領選挙での成功を祈る旨述べた。これに対しドドン大統領からは、これまでのロシアによる対モルドバ支援に感謝すると共に、ロシアからの2億ドル融資供与が近く署名されることへの期待感を表明した。

▼EU加盟19か国によるモルドバ大統領選挙に関する声明

・30日、EU加盟19カ国(オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、仏、独、伊、ラトビア、リトアニア、オランダ、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スウェーデン)は共同で声明を発表し、来るモルドバ大統領選挙については運動期間中に資金面を含めた各種透明性が保証されるべきこと、また、コロナ禍にあっても国民が安全な条件の下で投票できることを確保すべき必要性等を求めた。

3. 経済

※1ドル=16.95レイ(9月30日モルドバ国立銀行レート)で計算

▼8月の外貨送金126.5百万ドル

・24日、国立銀行は、今年8月の海外からの送金総額が126.5百万ドル(前年同月比27.2%増)となった旨発表した。

・主な送金元はイスラエル23.7百万ドル、イタリア18.3百万ドル、ロシア17.5百万ドル。全体の47%がEUから、15.1%がCISからの送金。

・今年1～8月までの送金総額は921.5百万ドル(前年同期比14.8%増)。

▼今年1～8月の国家予算執行状況

・25日、今年1～8月の国家予算赤字が6,059百万レイ(357.46百万ドル)、昨年同期比で2倍増することが明らかになった。パンデミックによる経済危機により、歳入が976.4百万レイ(57.60百万ドル)減少し、歳出が増えたため。

▼国立銀行とECBとの銀行監視分野に関する覚書の締結

・28日、国立銀行は欧州中央銀行(ECB)との間で、銀行監視分野に関する覚書を締結した。これにより、国立銀行とEU諸国の銀行監督当局との情報交換が容易になる。

▼8月末時点の政府債務

・29日、財務省は8月末の政府債務総額が612億レイ(3

6. 16億ドル)となり、対前年末比16. 5%増と発表した。

国内債務は276億レイ(16. 28億ドル)、外国債務は336億レイ(19. 82億ドル)。外国債務では、IMF 融資235百万ドルなどが含まれる。

経済協力

▼EBRD、EIB、EUによる72百万ユーロのエネルギー効率化プロジェクト

・16日、EBRD は、エネルギー効率化プロジェクト(公共の建物等のエネルギー効率対策のためのプロジェクト)実施のため、モルドバに対し総額30百万ユーロの融資を行うことを発表した。同プロジェクトには、EIBも30百万ユーロの融資、EUからも12百万ユーロの無償援助があるため、プロジェクト総額は72百万ユーロとなる。

▼米国による消防隊支援

・18日、米国国防省の人道支援プログラムにより、フンチェシュティ市に新たに救急・消防隊が発足した(45万米ドル)。

▼EUが52台のバトカーを供与

・22日、EUはモルドバに52台のバトカー(1. 17百万ドル)を供与した。警察改革のためのEU予算支援プログラムの一環。

4. 各種統計

▼今年1～7月の工業生産

・18日、国家統計局は、今年7月の工業生産が、昨年同月比2. 4%減となったと発表した。

・鉱業15. 7%増、エネルギー・ガス・温水・空調の生産・供給5. 9%増であったが、加工業が3. 7%減となった。

・今年1～7月では、鉱業が昨年同期比3. 2%減、加工業同6. 3%減、エネルギー・ガスの生産と供給同6. 4%減により、工業生産は同6. 3%減少。

▼60歳以上の人口21. 8%

・29日、国家統計局は、60歳以上の人口が2020年までに総人口の21. 8%(57. 4万人)になった旨発表した。

(了)